

京都精華大学 オープンキャンパス 9月30日(日)

KYOTO  
SEIKA  
UNIV.  
2018  
OPEN  
CAMPUS  
GUIDE

# Doors

volume

# 11

# 生態図

# セイカ生の

セイカ生のありのままの姿がここに！

自由と多様性が  
連鎖する  
セイカの生態系は  
無限の進化を  
秘めている。

「ドアーズ」





# Faculty of Design デザイン学部

スケッチブックは必需品ですね。時間が空くと、目の前の風景を描いたり、考えをまとめるためにメモをしたり、いろいろな使い方があります。



ライフクリエイションコース2年生 梅田さんに聞きました!

カメラを持ち歩く人も多く、作品づくりも兼ねて、パシャパシャといるところを撮っていますね。

**Q** どんなことが流行っていますか?

本館の1Fにある文具店「画箋堂」の前にガチャガチャが置いてあるんですが、それをやる人はけっこういますね。出たものを机に置いたり、カバンにつけたり。なかには、机に接着剤でつけちゃう大胆なことをする人もいます(笑)。教室清掃の日に苦勞して剥がしてますね。

**Q** デザイン学部生にはどんな人がいますか?

明るくて朗らかな人ばかりなんですけど、その内面は創作へのこだわりやライバル心、譲れないポリシーなんかがマグマのようにグツツと煮えたぎっている人が多いいです。それは個人の制作時にも垣間見えるんですが、グループワークになると頻りに顔を出します。なので、熱い議論になることも珍しくないんです。でも、なんだかんだと合わせてくれる人ばかりなんですけどね。

**Q** 夏休みなどの長期の休みの日はどのように過ごされていますか?

夏休み期間に開催されるワークショップに参加することが多いと思います。私は、海外の協定校の学生とグループで作品を作りあげるというワークショップに参加しました。フランスの学生たちと、一緒に金縫いで作品を仕上げましたね。英語が不慣れなのでボディランゲージを交えつつコミュニケーションをとったんですが、意外と通じて(笑)。すごく良い経験になりましたね。

シンプルながらもオシャレな人が多いですね。でもみんな、作業時にはエプロンや作業着を身につけて、顔に汗をかきながらやっています。着替えをもってきていて、作業時にはその服に着替えて…という人も多いい。靴までは替える人もいます。



版画専攻3年生 貴志さんに聞きました!

男の子は意外とキレイ好きな人が多いんです。私たちの机は散らかっているのに、男子の机はきちんち整頓されているなんて光景は日常です。

**Q** 芸術学部生にはどんな人がいますか?

職人肌のアーティストのような人が多いと思われがちなんですけど、じつは社交的な人たちばかりなんです。好評や発表も多いので、コミュニケーション能力が鍛えられるんじゃないかな。

**Q** これまで出会った人のなかで、印象に残っている人はいますか?

「緑」としてつもないこだわりを持っている人がいるんですが、その人が一番印象に残っていますね。服も緑で、持ち歩くアイテムも緑ばかり。作品ももちろん緑色にあふれていて、なんと机に置いているティッシュも緑の箱を選び、使用するコピー用紙まで緑の紙にするほどなんです。

# Faculty of Arts 芸術学部

# セイカ生のありのままの姿がニートー!

# セイカ生の生態図

京都精華大学のイメージは、マンガ? それとも芸大? じつは個性豊かな5つの学部で構成されていて、それぞれの学部ごとに、学生の行動やこだわりもマチマチ。そこで、5人の現役セイカ生に、所属する学部生のあるあるネタや、学生生活の実態をざっくばらんに語ってもらいました。



ファッションコース2年生 小山さんに聞きました!

小物やアクセが好き人が多いですね。シルバーはよく見かけます。

**Q** 日常風景はどのようなものでしょうか?

ファッションコースは個性が服装に表れるので、いろいろなファッションが毎日見られます。教室のなかはさながらプチファッションショーのよう(笑)。あとは、真面目な人が多いので、授業や制作は静かにしっかりとやっていますね。

**Q** ずばり、人文学部の良いところってどこですか?

先生との距離がすごく近いところ。名前も「一さん」で呼びますし、研究室もすごく気軽に訪ねられて、なかには扉をノックもしないで入っていく猛者もいるくらいです(笑)。研究の相談はもちろんなんですが、人生相談もできて、しかも笑わずに真剣に聞いてくれる。なかなかないですよ、こんな大学。

本当にいるんな服装の人ばかりなので、なかなか「これ」というものはないんですが、モード系のファッションを好む人が一定数はいますね。

# Faculty of Popular Culture ポピュラーカルチャー学部

**Q** ポピュラーカルチャー学部生にはどんな人がいますか?

周りに流されない、自分のスタイルをもっている人たちばかりですね。そしてそれを侵害もしないし、否定もしない。お互いがお互いのスタイルを尊重しあっているんです。

**Q** これまでで一番驚いたことはなんですか?

学祭のときに、コースをあげてお店を出すんですよ。1年生から4年生までみんなで協力しながら、その年のドレスコードを決めて、それに合わせた服装で接客するんです。先輩も後輩も関係なく、一丸になってなにかをするという経験は高校ではしたことがなかったので、最初はとても驚きました。でも、これをきっかけに友だちや知り合いがたくさんできましたし、とても貴重な経験になりました。

**Q** マンガ学部生の「あるある」を教えてください。

友だちと「描き合いっこ」をよくしますね。相手の絵柄を知りつくしているので、「あんたの絵で、このシュチュエーションのあのキャラが見たい!」と、自分の欲に従って細かく注文したりされたりしています(笑)。あと、コースによってマンガの書き方がデジタル・アナログで分かれるんですが、キャラクターデザインコースはデジタルで、たまに授業でペンを握るときなんか「戻る」のショートカットがないことにヤキモキしたりしますね。

私も含めて、スマホゲームをやっている人はたくさんいます。協力プレイや、ひとりのプレイをみんなで見守ったりなんかも。友だちからの誕生日プレゼントがプリペイドカードだったときは、「くるところまできたな」という気持ちでした(笑)。

メガネ率の高さは、もはや伝統的。最近は、丸メガネ派が増えてきましたね。フレームも細いものが流行っています。なかには2本を使い分けている人も。

文学専攻4年生 宮西さんに聞きました!

# Faculty of Humanities 人文学部

**Q** 人文学部生にはどんな人がいますか?

芯のある人が多いですね。みんなそれぞれに「やりたい」ことをもっていて、それが自分の芯になっているとか。でも最初から、やりたいことをもっている人は少ないんです。ほとんどの人が4年間の学生生活で見つけていきますね。

学年があがっていくと、必ず1冊は研究に関する書籍を持ち歩くようになります。読み込みすぎて本がボロボロになっている人も。

**Q** 人文学部生は寡黙な人が多いですか?

いえ、おしゃべりな人が多いと思います。好きなことや、やりたいことに関しての話題は当然として、それ以外のこともよく話したり聞いたり。聞き上手ばかりという印象ですね。みんな寛容というか、それぞれの趣味や興味を認めているんだと思います。

# Faculty of Manga マンガ学部

リュックの人が多いですね。デジタル派は、基本的にパソコンとペンタブだけを入れています。



キャラクターデザインコース2年生 辰家さんに聞きました!

**Q** マンガ学部に入って良かったと思ったことはありますか?

少し特殊な例かもしれないんですが、pixivなどで好きになった作家さんが下級生だったとわかったことです。しかも貼り出された作品で判明したんですよ。私もすごく好きな作家さんだったのでうれしいんですけど、絵のうまさに焦りも出てきて、複雑な気持ちでした。こういうってマンガ学部ではよくあることで、入学してからできた友だちが、じつは入学以前からTwitterでフォローしあっていた作家さんだったり、「あれ? この絵ってpixivのランキングでよく見た絵柄に似ているとか、そのもの」と思って聞いてみたら本人だったり、なんて話も、いろいろな人から聞きますし、私自身も体験しました。

服はシンプルズベスト! でもだれかと被ることも多くて、悩みの種です。

スケジュール帳はマストアイテムですね。授業の日や予定、レポートの締め切り日なんかを書いています。スケジュール帳には、みんなそれぞれで密かなこだわりをもっていますよ。